

表2. 薬剤耐性菌別感染症患者数

薬剤耐性菌名	1月	2月	3月	計
M R S A	280(94.28%)	287(91.69%)	313(93.15%)	880(93.02%)
MRSA+多剤耐性緑膿菌	1(0.34%)	0(0.00%)	2(0.60%)	3(0.32%)
多剤耐性緑膿菌	3(1.01%)	2(0.64%)	2(0.60%)	7(0.74%)
P R S P (PISPも含む)	9(3.03%)	11(3.51%)	12(3.57%)	32(3.38%)
メチロβラクタマーゼ産生グラム陰性桿菌	3(1.01%)	3(0.96%)	0(0.00%)	6(0.63%)
MRSA+メチロβラクタマーゼ産生グラム陰性桿菌	0(0.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)
その他	1(0.34%)	10(3.19%)	7(2.08%)	18(1.90%)
感染症患者数計	297(100.00%)	313(100.00%)	336(100.00%)	946(100.00%)
参加施設数	62	62	60	

注：「計」は3ヶ月の薬剤耐性菌別感染症患者数を単純に加えたものです。

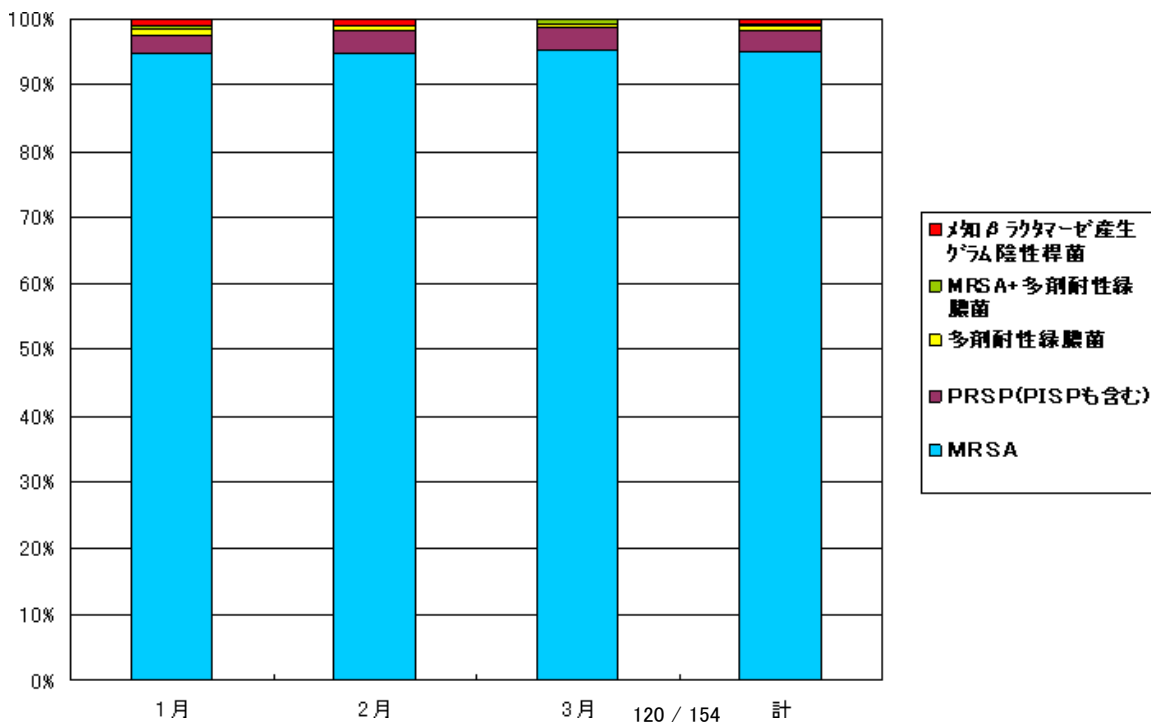
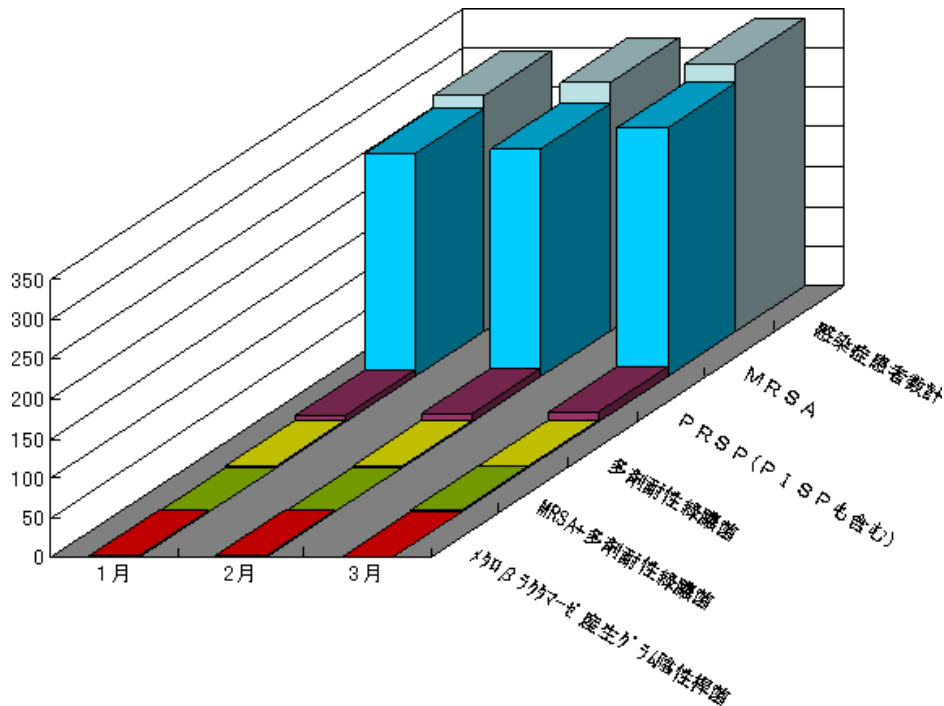
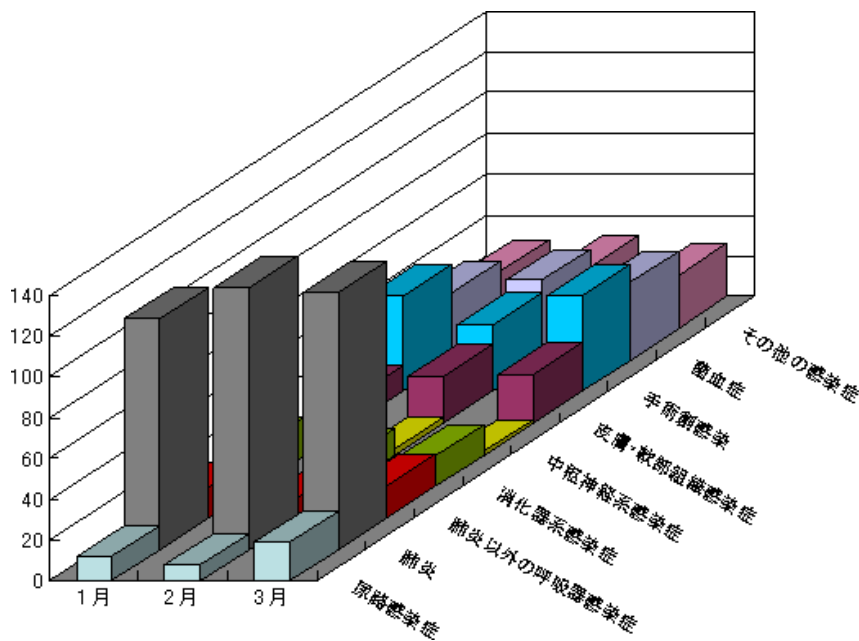


表3 . MRSA感染症の感染症名内訳

感染症名	1月	2月	3月	計
尿路感染症	12(4.29%)	8(2.79%)	19(6.07%)	39(4.43%)
肺炎	113(40.36%)	128(44.60%)	126(40.26%)	367(41.70%)
肺炎以外の呼吸器感染症	15(5.36%)	10(3.48%)	16(5.11%)	41(4.66%)
消化器系感染症	19(6.79%)	13(4.53%)	15(4.79%)	47(5.34%)
中枢神経系感染症	0(0.00%)	3(1.05%)	2(0.64%)	5(0.57%)
皮膚・軟部組織感染症	13(4.64%)	23(8.01%)	24(7.67%)	60(6.82%)
手術創感染	47(16.79%)	33(11.50%)	47(15.02%)	127(14.43%)
菌血症	33(11.79%)	39(13.59%)	38(12.14%)	110(12.50%)
その他の感染症	28(10.00%)	30(10.45%)	26(8.31%)	84(9.55%)
計	280(100.00%)	287(100.00%)	313(100.00%)	880(100.00%)

注：(1)「計」は3ヶ月のMRSA感染症の感染症名の報告数を単純に加えたものです。

注：(2)MRSA感染症の集計はMRSAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロβラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。



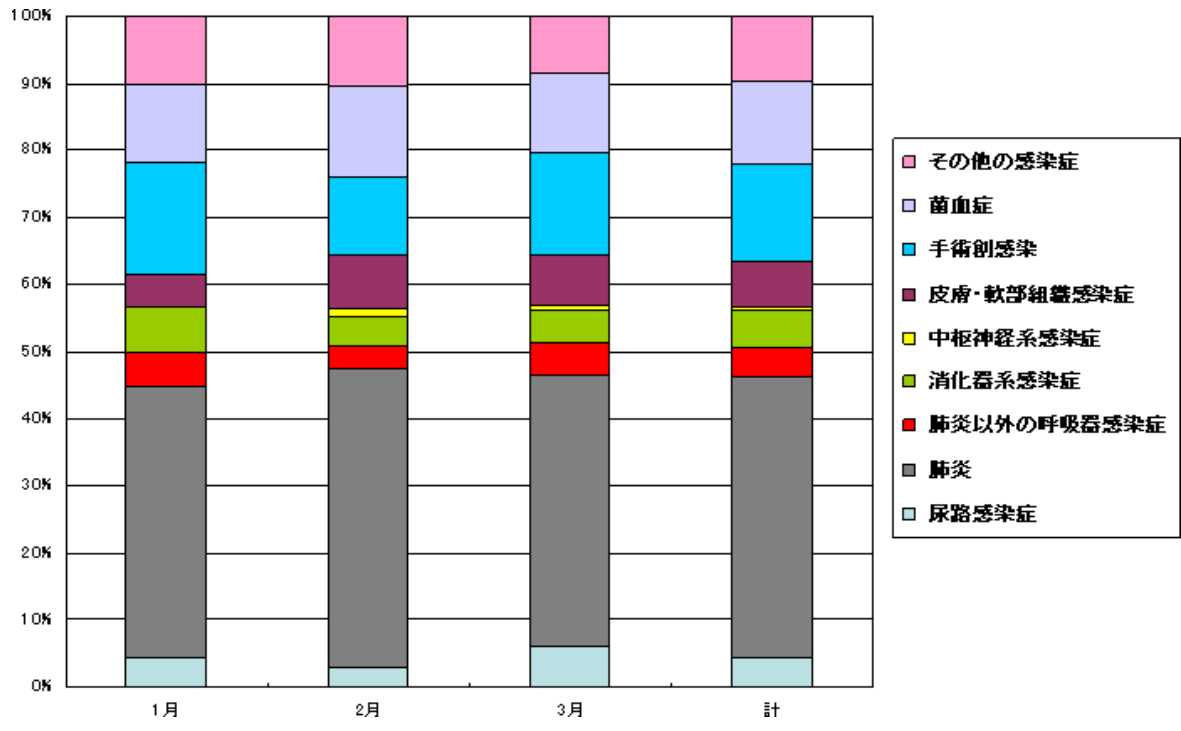
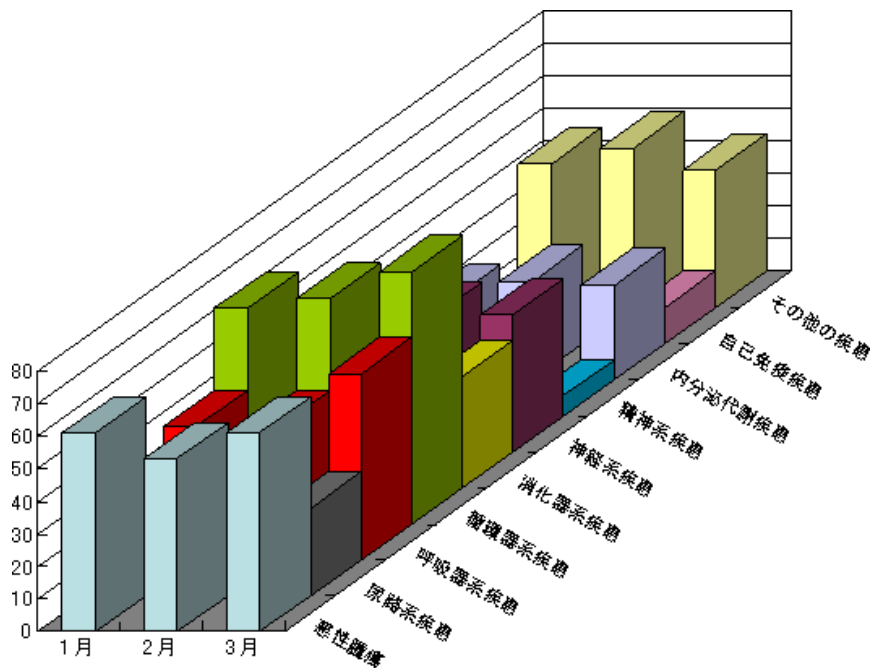
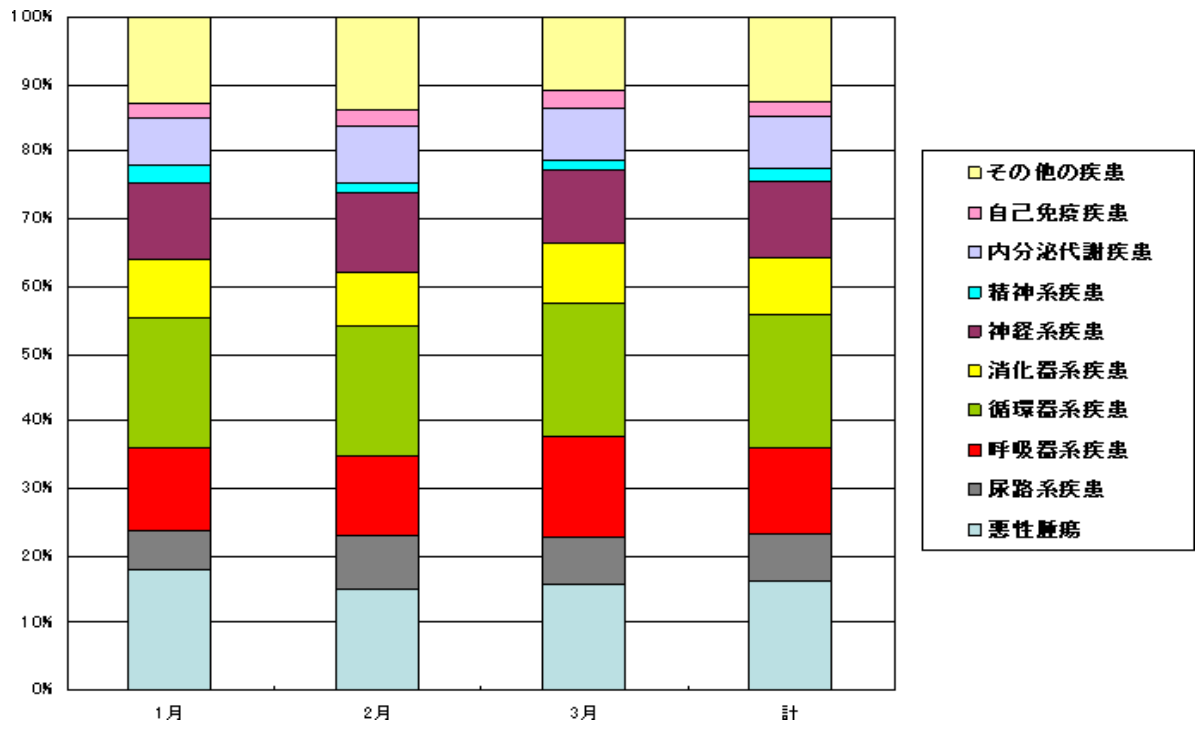


表4 . MRSA感染症の基礎疾患名内訳

基礎疾患名	1月	2月	3月	計
悪性腫瘍	61(17.94%)	53(15.06%)	61(15.80%)	175(16.23%)
尿路系疾患	20(5.88%)	28(7.95%)	27(6.99%)	75(6.96%)
呼吸器系疾患	41(12.06%)	41(11.65%)	57(14.77%)	139(12.89%)
循環器系疾患	66(19.41%)	69(19.60%)	77(19.95%)	212(19.67%)
消化器系疾患	30(8.82%)	28(7.95%)	34(8.81%)	92(8.53%)
神経系疾患	38(11.18%)	41(11.65%)	42(10.88%)	121(11.22%)
精神系疾患	9(2.65%)	5(1.42%)	6(1.55%)	20(1.86%)
内分泌代謝疾患	24(7.06%)	30(8.52%)	29(7.51%)	83(7.70%)
自己免疫疾患	7(2.06%)	8(2.27%)	11(2.85%)	26(2.41%)
その他の疾患	44(12.94%)	49(13.92%)	42(10.88%)	135(12.52%)
計	340(100.00%)	352(100.00%)	386(100.00%)	1,078(100.00%)

注：(1) 1患者の基礎疾患名に重複があるために、件数は患者数より多くなっています。
 注：(2) 基礎疾患名別の統計情報の収集が行われていないので、基礎疾患名別の感染率は表示できません。
 注：(3) 「計」は3ヶ月のMRSA感染症の基礎疾患名の報告数を単純に加えたものです。
 注：(4) MRSA感染症の集計はMRSAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロβラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。



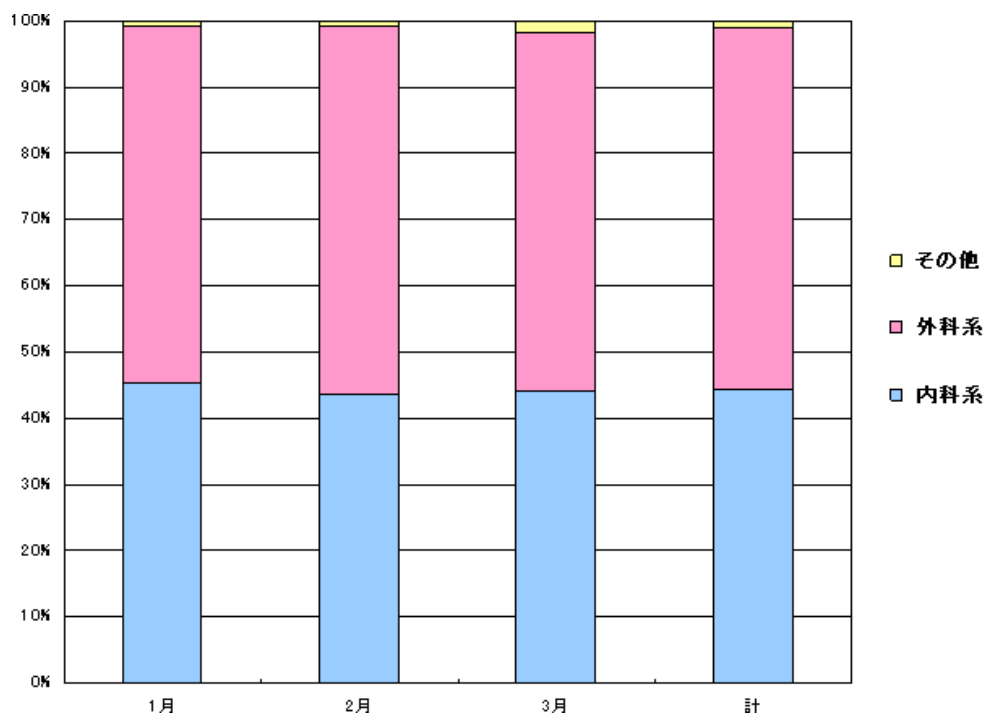
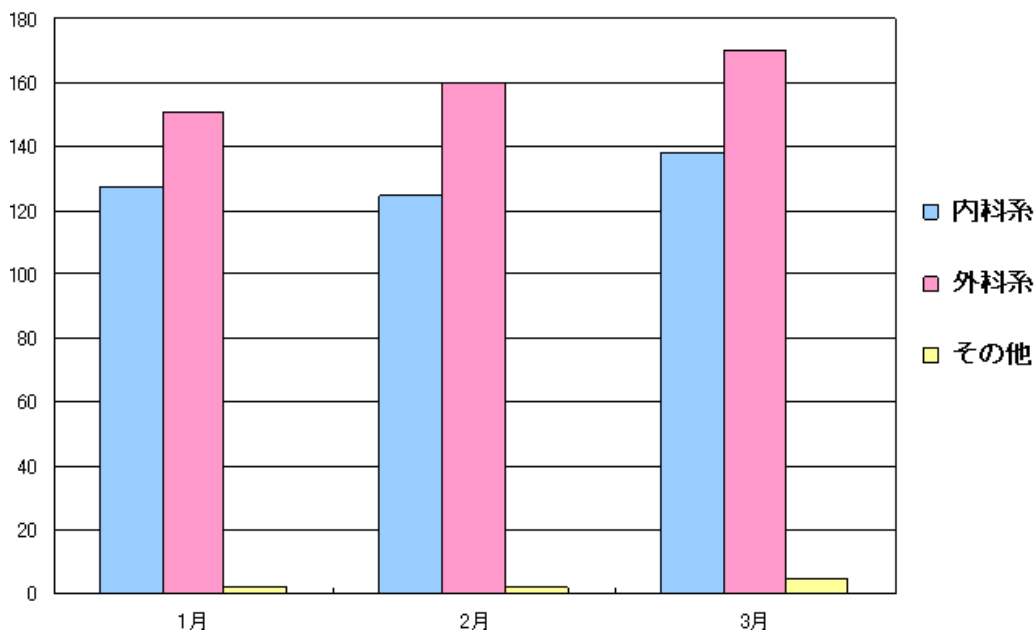


◀ 概要・1・2・3・4 ▶

表5 . MRSA感染症の診療科内訳

診療科	1月	2月	3月	計
内科系	127(45.36%)	125(43.55%)	138(44.09%)	390(44.32%)
外科系	151(53.93%)	160(55.75%)	170(54.31%)	481(54.66%)
その他	2(0.71%)	2(0.70%)	5(1.60%)	9(1.02%)
計	280(100.00%)	287(100.00%)	313(100.00%)	880(100.00%)

感染患者数



内科系:内科、循環器科、神経内科、呼吸器科、消化器科、小児科、心療内科、神経科、精神科、放射線科、麻酔科、リウマチ科、胃腸科、アレルギー科

外科系:外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、産婦人科、産科、婦人科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、皮膚泌尿器科、脳神経外科、形成外科、歯科、歯科口腔外科、小児歯科、矯正歯科、気管食道科、美容外科、肛門科

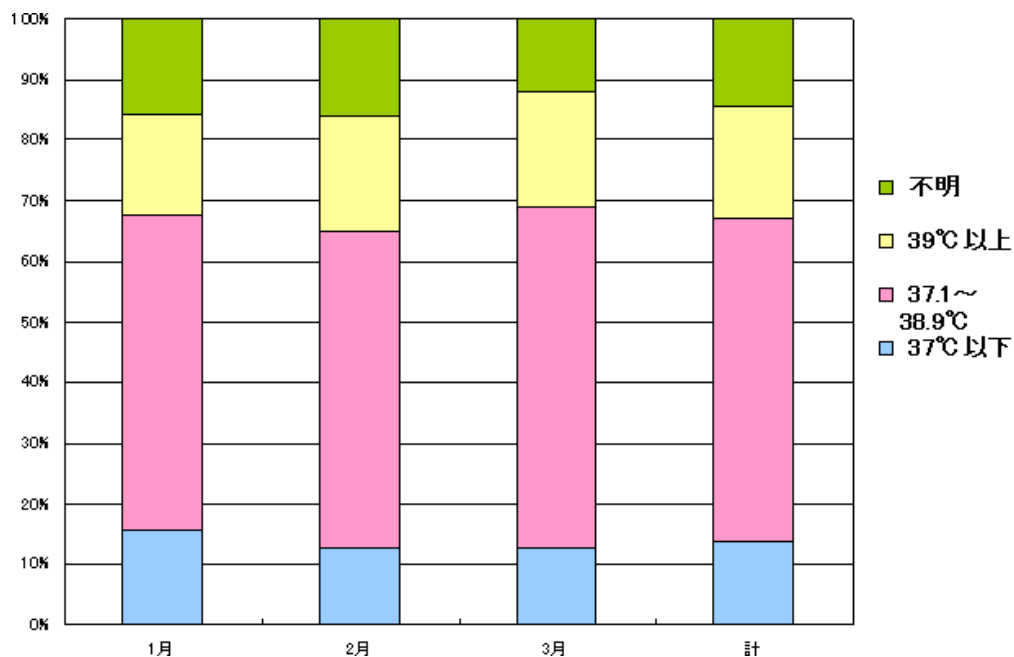
その他:性病科、リハビリテーション科、その他

注:(1)「計」は3ヶ月のMRSA感染症の診療科名の報告数を単純に加えたものです。

注:(2) MRSA感染症の集計はMRSAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロβラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

表6 . MRSA感染症患者の体温分布

体温	1月	2月	3月	計
37 以下	44(15.71%)	37(12.89%)	40(12.78%)	121(13.75%)
37.1～38.9	145(51.79%)	149(51.92%)	176(56.23%)	470(53.41%)
39 以上	47(16.79%)	55(19.16%)	59(18.85%)	161(18.30%)
不明	44(15.71%)	46(16.03%)	38(12.14%)	128(14.55%)
計	280(100.00%)	287(100.00%)	313(100.00%)	880(100.00%)



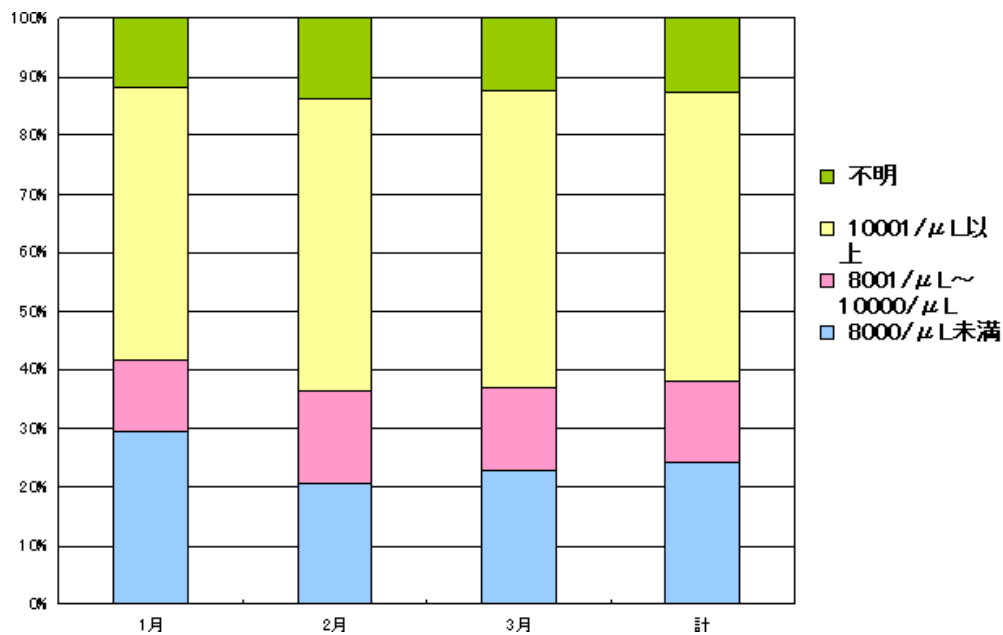
注:(1)「計」は3ヶ月のMRSA感染症の体温の報告数を単純に加えたものです。

注:(2)MRSA感染症の集計はMRSAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロβラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

◀ 概要・1・2・3・4 ▶

表7. MRSA感染症患者の白血球数分布

	1月	2月	3月	計
8000/ μ L未満	82(29.29%)	59(20.56%)	71(22.68%)	212(24.09%)
8001/ μ L～10000/ μ L	34(12.14%)	45(15.68%)	44(14.06%)	123(13.98%)
10001/ μ L以上	131(46.79%)	143(49.83%)	159(50.80%)	433(49.20%)
不明	33(11.79%)	40(13.94%)	39(12.46%)	112(12.73%)
計	280(100.00%)	287(100.00%)	313(100.00%)	880(100.00%)

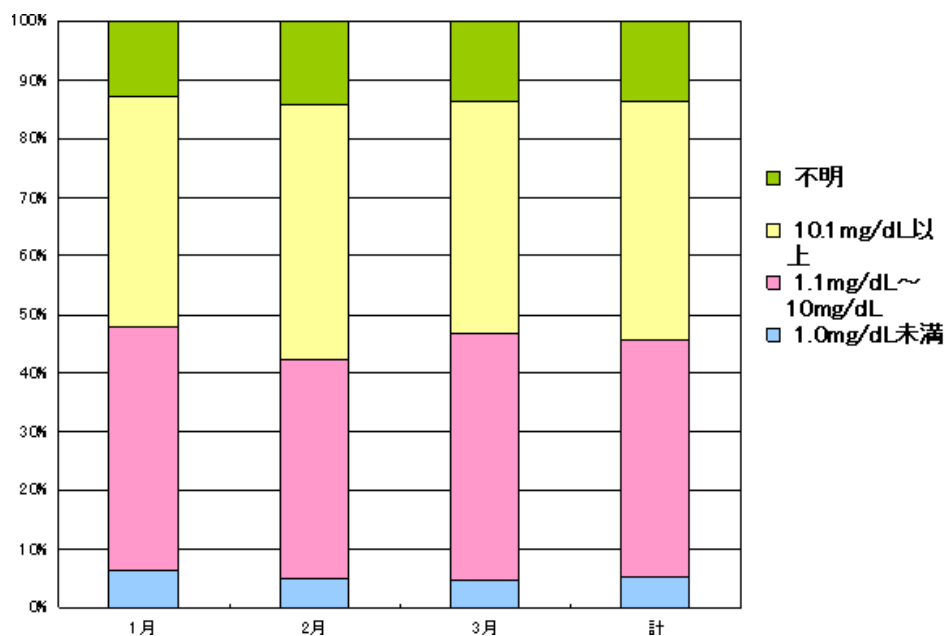


注：(1) 「計」は3ヶ月のMRSA感染症の白血球の報告数を単純に加えたものです。

注：(2) MRSA感染症の集計はMRSAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロ β ラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

表8 . MRSA感染症患者のCRP値分布

CRP値	1月	2月	3月	計
1.0mg/dL未満	17(6.07%)	14(4.88%)	15(4.79%)	46(5.23%)
1.1mg/dL～10mg/dL	117(41.79%)	107(37.28%)	131(41.85%)	355(40.34%)
10.1mg/dL以上	110(39.29%)	125(43.55%)	124(39.62%)	359(40.80%)
不明	36(12.86%)	41(14.29%)	43(13.74%)	120(13.64%)
計	280(100.00%)	287(100.00%)	313(100.00%)	880(100.00%)



注：(1) 「計」は3ヶ月のMRSA感染症のCRP値の報告数を単純に加えたものです。

注：(2) MRSA感染症の集計はMRSAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロβラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

◀ 概要・1・2・3・4 ▶

全入院部門
2007年4－6月

【全入院患者サーベイランスの目的】

院内感染対策サーベイランスの一環として、全国の200床以上の病院のうち本サーベイランスの趣旨に賛同して参加を希望した医療機関の協力を得て、院内感染対策に問題となりうる薬剤耐性菌による感染症患者の発生动向等のデータの提供を受け、患者の基礎疾患その他の背景因子、関連因子等を解析した結果を参加医療機関に還元し、また解析結果の要点を広く一般に公開することにより、全国の医療機関において実施されている院内感染対策を支援することを目的とする。

調査対象菌種としてMRSA、PRSP、メタローβラクタマーゼ産生グラム陰性桿菌、多剤耐性緑膿菌、VRE、VRSA、その他危険と思われる薬剤耐性菌を選び、これらの耐性菌による感染者情報を収集し、データの集計・解析を行い、季報・年報として要点を公表する。季報としては以下の内容を公表する。

【解説】

今回の季報（2007年4～6月）における調査参加施設数は63施設で、調査対象となった総入院患者数は175,260名であった。そのなかで薬剤耐性菌による感染症を引き起こした患者数は846名であった。（前期946名）

各月毎に感染症に罹っている患者数を各月の総入院患者数で除したものをその月の感染率(‰)として表し、その月に新たに感染症に罹患した患者数の割合を罹患率(‰)として表した。3ヶ月間の平均感染率は4.83‰、平均罹患率は3.96‰であった。（前期 平均感染率 4.81‰、平均罹患率 3.88‰）

薬剤耐性菌による感染症の89.60%はMRSA感染症（前期 93.02%）であり、次いでPRSP感染症は5.08%（前期 3.38%）であった。多剤耐性緑膿菌による感染症は0.95%（前期 0.74%）であった。VRE感染症の報告はなかった。感染症の43.93%は肺炎であり、次いで手術創感染（13.98%）、菌血症（11.74%）、消化器系感染症（7.12%）、皮膚・軟部組織感染症（6.07%）、尿路感染症（4.35%）の順であった。MRSA感染症に感染した患者の基礎疾患は、循環器系疾患（19.53%）が最も多く、次いで悪性腫瘍（15.96%）、呼吸器系疾患（12.95%）、消化器系疾患（11.94%）、神経系疾患（9.60%）、内分泌代謝疾患（8.59%）の順であった。診療科別では、内科系が49.87%、外科系が49.34%であった。

MRSA感染症患者の体温分布では37.1 以上～38.9 未満が52.37%を占め、39.0 以上（17.81%）を加えると37.1 以上が70.18%であった。白血球数分布では10,001/μL以上が47.49%、CRP値分布では1.1mg/dL以上～10.0mg/dL未満が37.47%、10.1mg/dL以上が39.45%であった。

[表 1 . 感染率及び罹患率の推移](#)

[表 2 . 薬剤耐性菌別感染症患者数](#)

[表 3 . MRSA感染症の感染症名内訳](#)

[表 4 . MRSA感染症の基礎疾患名内訳](#)

[表 5 . MRSA感染症の診療科内訳](#)

[表 6 . MRSA感染症患者の体温分布](#)

[表 7 . MRSA感染症患者の白血球数分布](#)

[表 8 . MRSA感染症患者のCRP値分布](#)

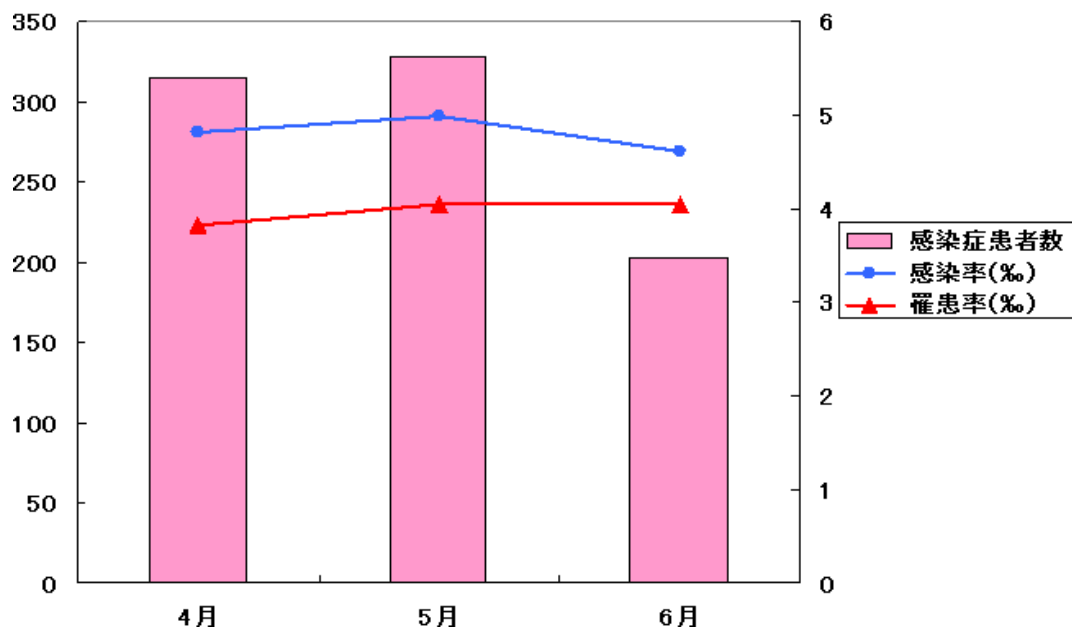
なお、集計不能なデータを除いたため、表によって計が異なる場合があります。

表1. 感染率及び罹患率の推移

	4月	5月	6月	計
感染症患者数	315	328	203	846
新規感染症患者数	251	265	178	694
総入院患者数	65,552	65,677	44,031	175,260
感染率(%)	4.81	4.99	4.61	4.83
罹患率(%)	3.83	4.04	4.04	3.96
参加施設数	63	62	43	

感染症患者数

感染率・罹患率



感染症患者数：調査対象とした薬剤耐性菌による感染症患者の数

総入院患者数 = 前月からの繰越患者数 + 新入院患者数

新規感染症患者数 = 新規の感染症患者の数 (= 罹患患者数)

継続感染症患者数 = 先月から継続している感染症患者の数

感染率(%) = (感染症患者数) ÷ (総入院患者数) × 1000

罹患率(%) = (新規感染症患者数) ÷ (総入院患者数 - 継続感染症患者数) × 1000

注(1)：表の「計」は3ヶ月の感染症患者数、新規感染症患者数、総入院患者数を単純に加えたものです。感染率、罹患率はこれらに基づいて算出しており、3ヶ月の平均を示しています。

注(2)：参加施設数が月によって異なります。

表2. 薬剤耐性菌別感染症患者数

薬剤耐性菌名	4月	5月	6月	計
M R S A	273(86.67%)	297(90.55%)	188(92.61%)	758(89.6%)
MRSA+多剤耐性緑膿菌	3(0.95%)	0(0.00%)	0(0.00%)	3(0.35%)
多剤耐性緑膿菌	3(0.95%)	3(0.91%)	2(0.99%)	8(0.95%)
P R S P (P I S P も含む)	18(5.71%)	17(5.18%)	8(3.94%)	43(5.08%)
メチロβラクターゼ産生グラム陰性桿菌	0(0.00%)	2(0.61%)	1(0.49%)	3(0.35%)
MRSA+メチロβラクターゼ産生グラム陰性桿菌	0(0.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)
その他	18(5.71%)	9(2.74%)	4(1.97%)	31(3.66%)
感染症患者数計	315(100.00%)	328(100.00%)	203(100.00%)	846(100.00%)
参加施設数	63	62	43	

注：「計」は3ヶ月の薬剤耐性菌別感染症患者数を単純に加えたものです。

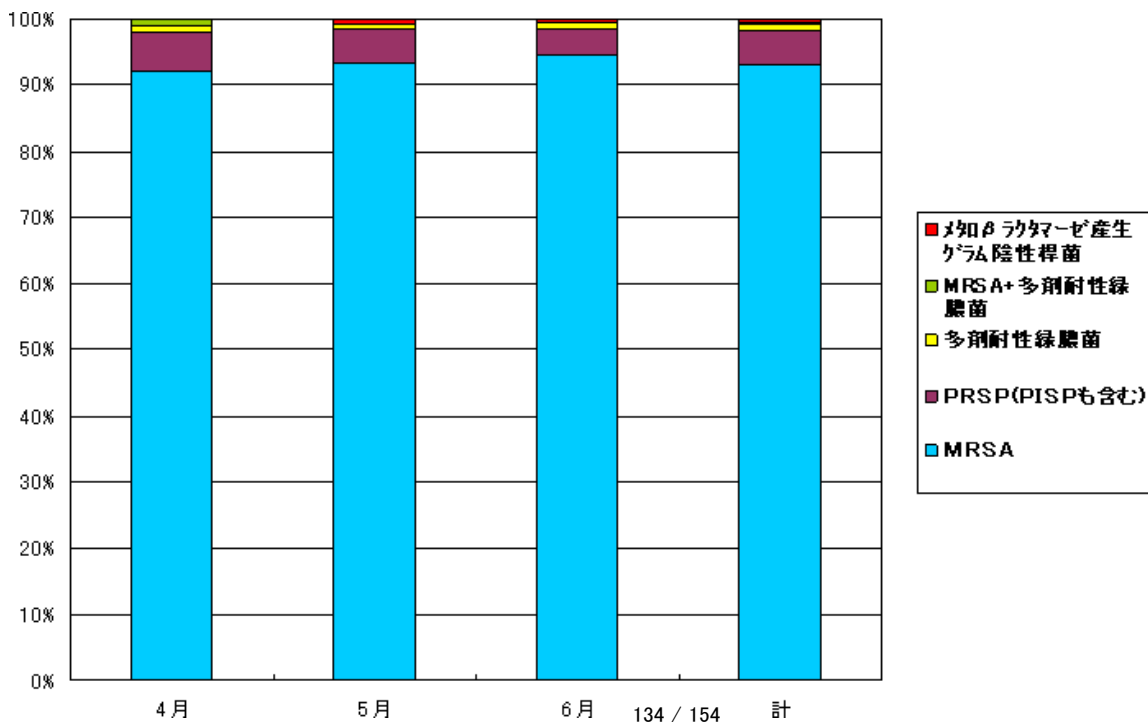
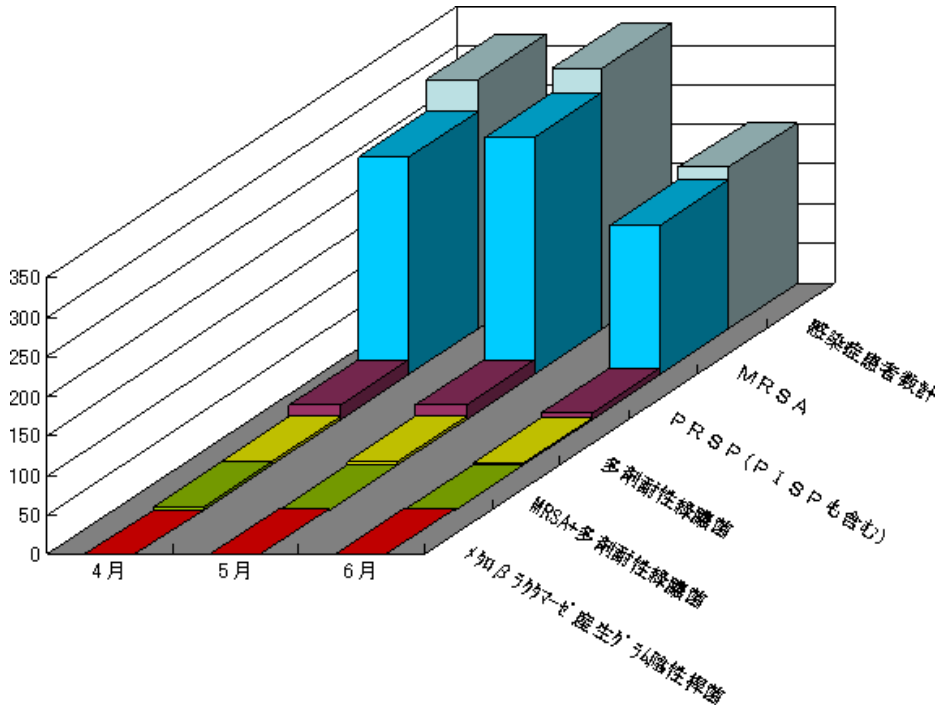
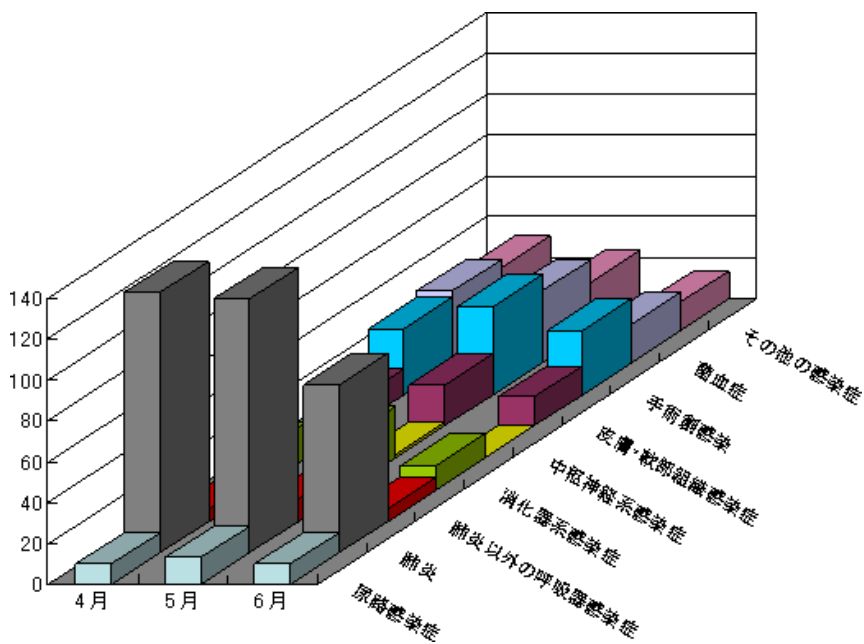


表3 . MRSA感染症の感染症名内訳

感染症名	4月	5月	6月	計
尿路感染症	10(3.66%)	13(4.38%)	10(5.32%)	33(4.35%)
肺炎	127(46.52%)	124(41.75%)	82(43.62%)	333(43.93%)
肺炎以外の呼吸器感染症	6(2.20%)	11(3.70%)	6(3.19%)	23(3.03%)
消化器系感染症	17(6.23%)	25(8.42%)	12(6.38%)	54(7.12%)
中枢神経系感染症	3(1.10%)	2(0.67%)	0(0.00%)	5(0.66%)
皮膚・軟部組織感染症	12(4.40%)	20(6.73%)	14(7.45%)	46(6.07%)
手術創感染	32(11.72%)	43(14.48%)	31(16.49%)	106(13.98%)
菌血症	35(12.82%)	35(11.78%)	19(10.11%)	89(11.74%)
その他の感染症	31(11.36%)	24(8.08%)	14(7.45%)	69(9.10%)
計	273(100.00%)	297(100.00%)	188(100.00%)	758(100.00%)

注：(1)「計」は3ヶ月のMRSA感染症の感染症名の報告数を単純に加えたものです。

注：(2)MRSA感染症の集計はMRSAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロβラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。



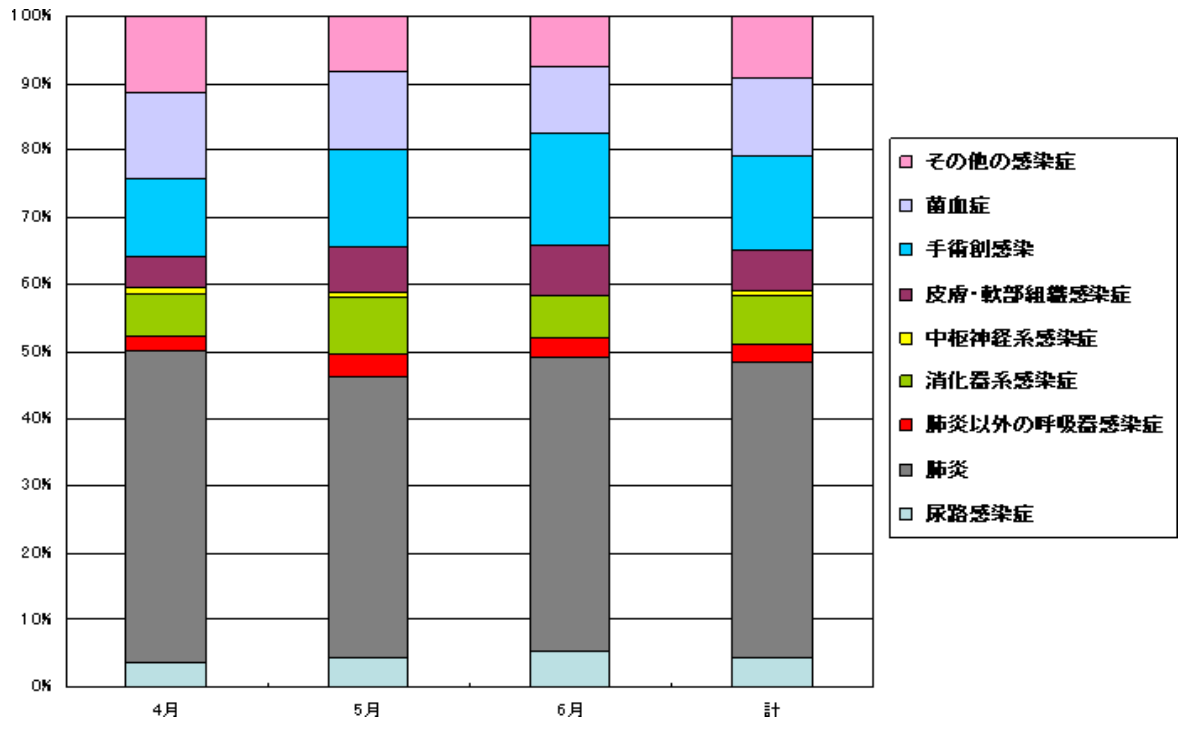


表4 . MRSA感染症の基礎疾患名内訳

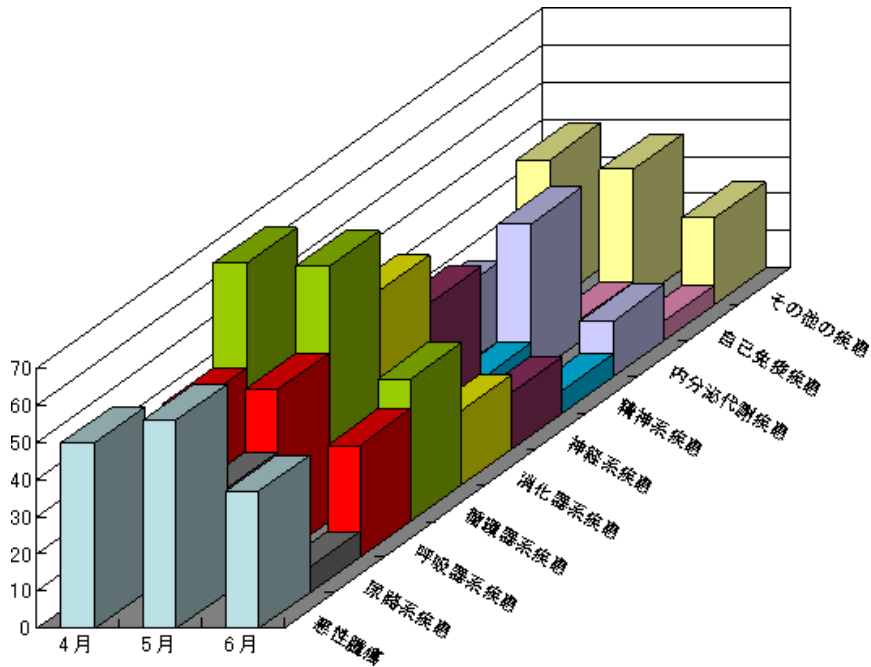
基礎疾患名	4月	5月	6月	計
悪性腫瘍	50(15.63%)	56(14.74%)	37(18.88%)	143(15.96%)
尿路系疾患	23(7.19%)	28(7.37%)	7(3.57%)	58(6.47%)
呼吸器系疾患	41(12.81%)	45(11.84%)	30(15.31%)	116(12.95%)
循環器系疾患	69(21.56%)	68(17.89%)	38(19.39%)	175(19.53%)
消化器系疾患	35(10.94%)	52(13.68%)	20(10.20%)	107(11.94%)
神経系疾患	32(10.00%)	39(10.26%)	15(7.65%)	86(9.60%)
精神系疾患	4(1.25%)	9(2.37%)	6(3.06%)	19(2.12%)
内分泌代謝疾患	21(6.56%)	41(10.79%)	15(7.65%)	77(8.59%)
自己免疫疾患	6(1.88%)	6(1.58%)	5(2.55%)	17(1.90%)
その他の疾患	39(12.19%)	36(9.47%)	23(11.73%)	98(10.94%)
計	320(100.00%)	380(100.00%)	196(100.00%)	896(100.00%)

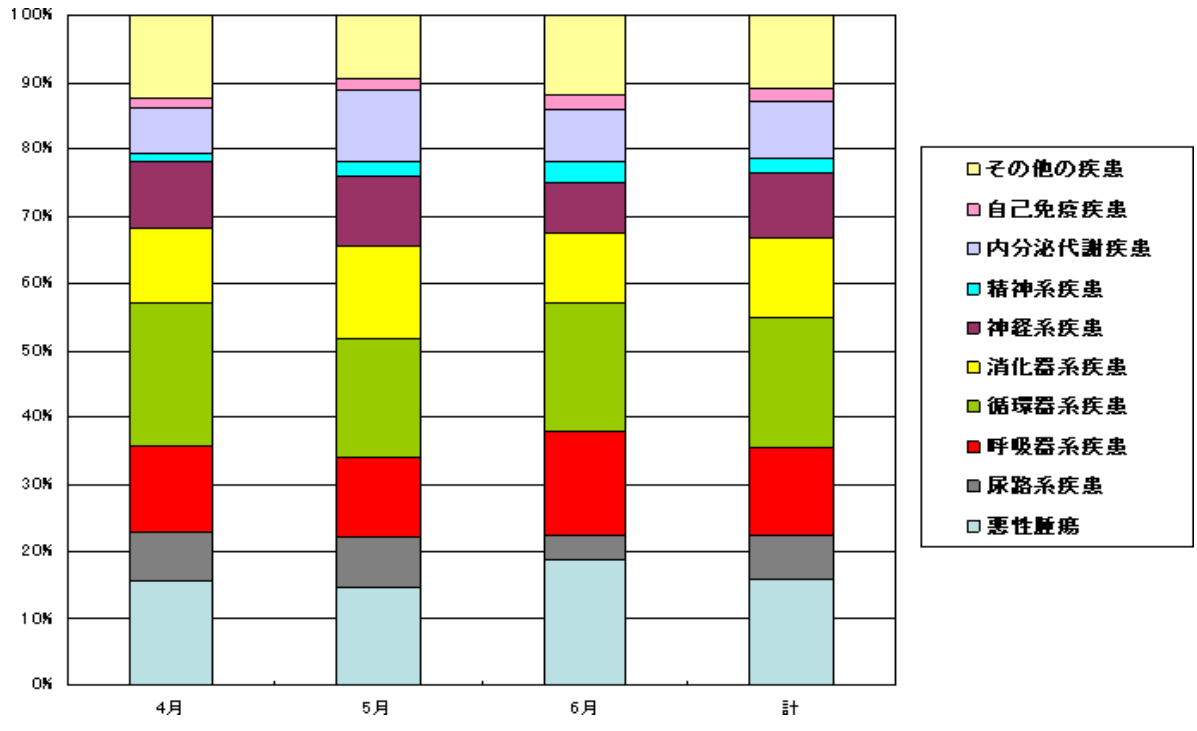
注：(1) 1患者の基礎疾患名に重複があるために、件数は患者数より多くなっています。

注：(2) 基礎疾患名別の統計情報の収集が行われていないので、基礎疾患名別の感染率は表示できません。

注：(3) 「計」は3ヶ月のMRSA感染症の基礎疾患名の報告数を単純に加えたものです。

注：(4) MRSA感染症の集計はMRSAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロβラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。



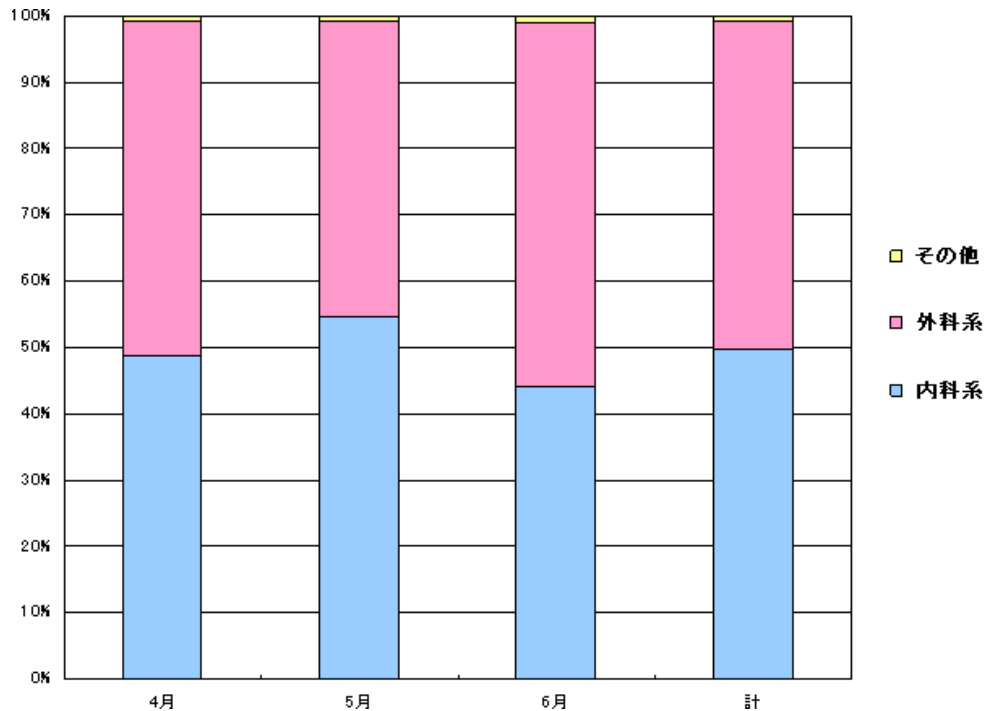
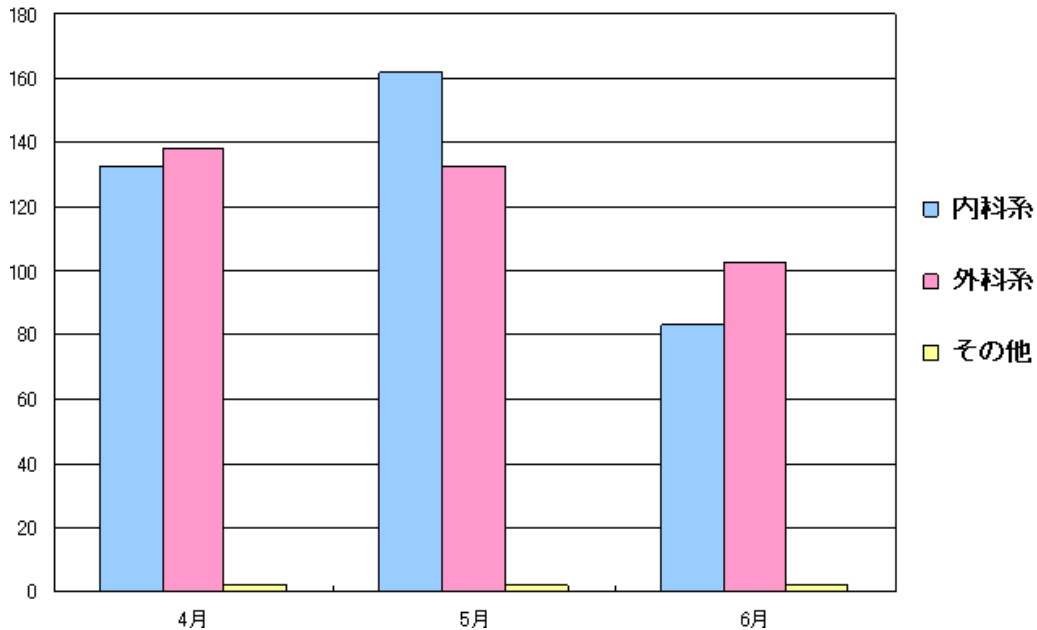


◀ 概要・1・2・3・4 ▶

表5 . MRSA感染症の診療科内訳

診療科	4月	5月	6月	計
内科系	133(48.72%)	162(54.55%)	83(44.15%)	378(49.87%)
外科系	138(50.55%)	133(44.78%)	103(54.79%)	374(49.34%)
その他	2(0.73%)	2(0.67%)	2(1.06%)	6(0.79%)
計	273(100.00%)	297(100.00%)	188(100.00%)	758(100.00%)

感染患者数



内科系:内科、循環器科、神経内科、呼吸器科、消化器科、小児科、心療内科、神経科、精神科、放射線科、麻酔科、リウマチ科、胃腸科、アレルギー科

外科系:外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、産婦人科、産科、婦人科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、皮膚泌尿器科、脳神経外科、形成外科、歯科、¹⁴⁰口腔外科、¹⁵⁴小児歯科、矯正歯科、気管食道科、美容外科、肛門科

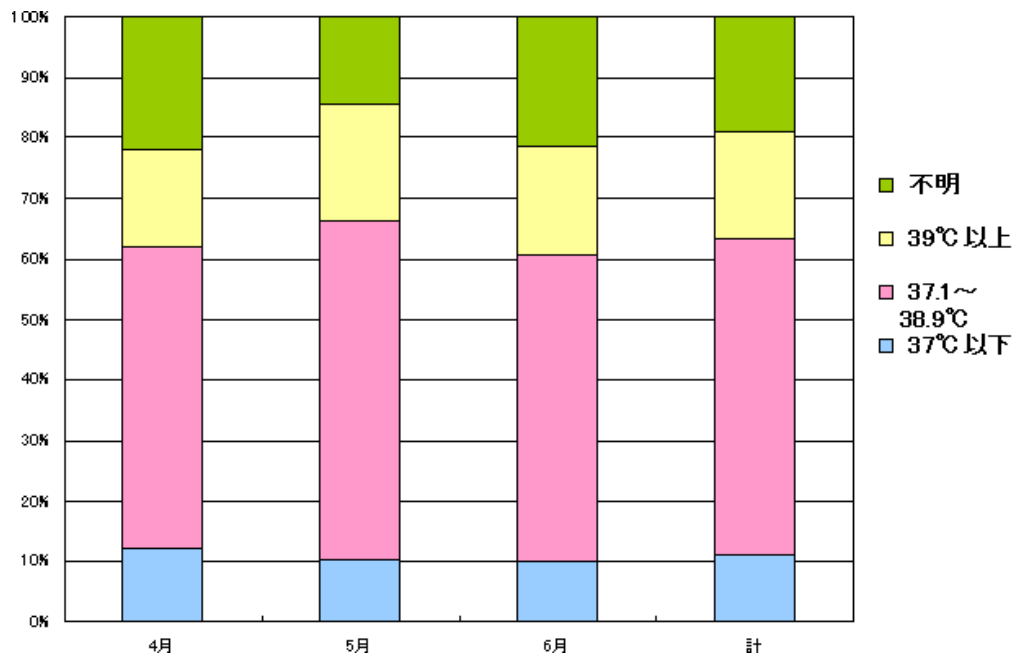
その他:性病科、リハビリテーション科、その他

注:(1)「計」は3ヶ月のMRSA感染症の診療科名の報告数を単純に加えたものです。

注:(2) MRSA感染症の集計はMRSAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロβラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

表6 . MRSA感染症患者の体温分布

体温	4月	5月	6月	計
37 以下	33(12.09%)	31(10.44%)	19(10.11%)	83(10.95%)
37.1～38.9	136(49.82%)	166(55.89%)	95(50.53%)	397(52.37%)
39 以上	44(16.12%)	57(19.19%)	34(18.09%)	135(17.81%)
不明	60(21.98%)	43(14.48%)	40(21.28%)	143(18.87%)
計	273(100.00%)	297(100.00%)	188(100.00%)	758(100.00%)



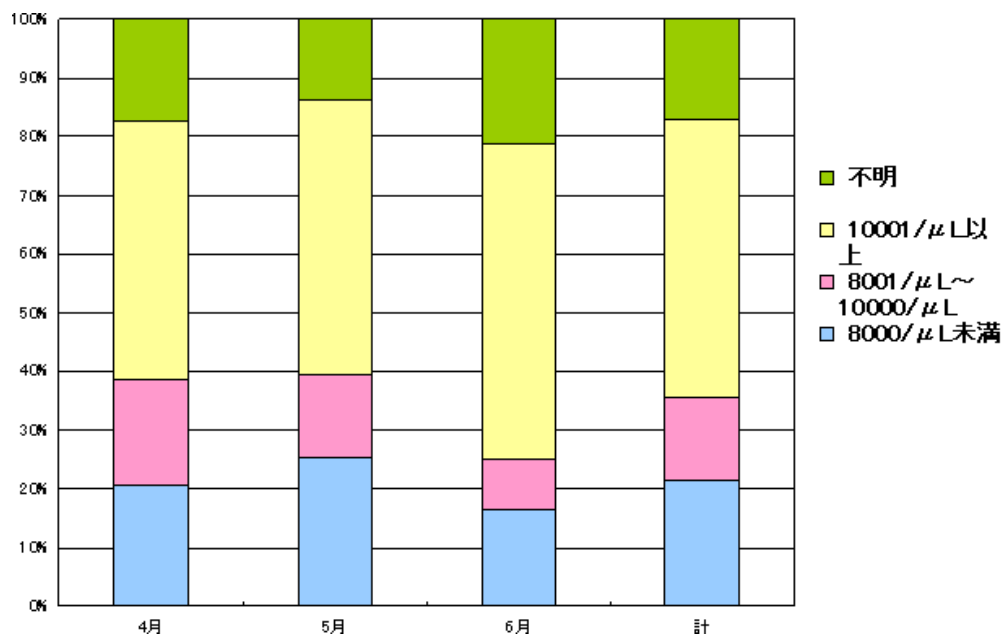
注:(1)「計」は3ヶ月のMRSA感染症の体温の報告数を単純に加えたものです。

注:(2)MRSA感染症の集計はMRSAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロβラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

◀ 概要・1・2・3・4 ▶

表7. MRSA感染症患者の白血球数分布

	4月	5月	6月	計
8000/ μ L未満	56(20.51%)	75(25.25%)	31(16.49%)	162(21.37%)
8001/ μ L～10000/ μ L	49(17.95%)	42(14.14%)	16(8.51%)	107(14.12%)
10001/ μ L以上	120(43.96%)	139(46.80%)	101(53.72%)	360(47.49%)
不明	48(17.58%)	41(13.80%)	40(21.28%)	129(17.02%)
計	273(100.00%)	297(100.00%)	188(100.00%)	758(100.00%)

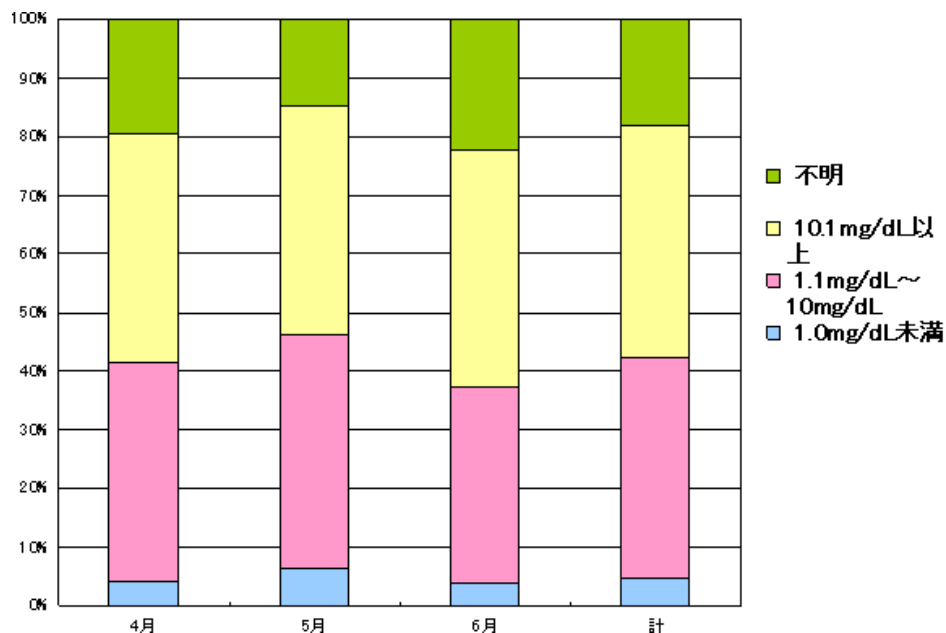


注：(1) 「計」は3ヶ月のMRSA感染症の白血球の報告数を単純に加えたものです。

注：(2) MRSA感染症の集計はMRSAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロ β ラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

表8 . MRSA感染症患者のCRP値分布

CRP値	4月	5月	6月	計
1.0mg/dL未満	11(4.03%)	18(6.06%)	7(3.72%)	36(4.75%)
1.1mg/dL～10mg/dL	102(37.36%)	119(40.07%)	63(33.51%)	284(37.47%)
10.1mg/dL以上	107(39.19%)	116(39.06%)	76(40.43%)	299(39.45%)
不明	53(19.41%)	44(14.81%)	42(22.34%)	139(18.34%)
計	273(100.00%)	297(100.00%)	188(100.00%)	758(100.00%)



注：(1) 「計」は3ヶ月のMRSA感染症のCRP値の報告数を単純に加えたものです。

注：(2) MRSA感染症の集計はMRSAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロβラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

◀ 概要・1・2・3・4 ▶

手術部位感染部門
2007年1－6月

手術部位感染（SSI）部門 2007年1月～6月期 季報

手術部位感染（SSI）部門におけるサーベイランスは、外科手術患者でのSSI発生状況を把握し、その対策を支援する情報を還元することを目的としています。

SSI部門において参加施設は、サーベイランスの対象とする手術手技を決定し、その手術手技に該当する手術に関する基礎的データ（手術時間、創分類、ASA スコア、他）を収集しています。術後原則としてSSI発生の有無に関する30日間の経過観察を行ないます。感染の兆候が疑われる症例に関しては、SSIの判定基準（米国CDCの院内感染診断基準）に基づきSSIか否かを判定します。SSIと判定した場合は、その発生に関するより詳細な情報を収集します。

参加各施設はこれらのデータを決められたフォーマットにより事業へ提出します。事業では、これらを解析し、以下に示すようなフィードバックを各施設に対して行なっています。ここで紹介しているのは全施設合計の解析結果です。

- ☒1 手術手技別SSI発生状況
- ☒2 性別手術手技別SSI発生状況
- ☒3 全身麻酔有無別手術手技別SSI発生状況
- ☒4 緊急手術有無別手術手技別SSI発生状況
- ☒5 外傷有無別手術手技別SSI発生状況
- ☒6 埋入物有無別手術手技別SSI発生状況
- ☒7 腹腔鏡使用有無別手術手技別SSI発生状況
- ☒8 合併手術有無別手術部位別SSI発生状況

参加各施設には同様の解析を施設ごとに行ない、結果を提供しています。各施設においては、フィードバックされた結果に基づき、SSIに関する自施設のパフォーマンス評価やその改善を行なっています。

2007年・季報（1-6月）では14施設から提供された3,333例のデータについて、集計・解析を行いました。

図1．手術部位別感染発生状況(症例数上位20手術手技)

手術手技	施設数	発生数	症例数	発生率 (%)	JNIS手術時間 75%ハ・センタイル値(分)	NNIS手術時間 カットオフポイント値(分)
APPY	10	17	210	8.1	82	60
BILI	10	17	104	16.3	355	300
CHOL	9	14	311	4.5	140	120
COLN	13	53	391	13.6	200	180
CRAN	1	0	55	0	296	240
FUSN	2	1	60	1.7	238	240
FX	3	0	208	0	98	120
GAST	11	13	326	4	244	180
HER	7	1	268	0.4	95	120
HPRO	4	0	80	0	110	120
LAM	2	0	74	0	136	120
MAST	3	0	83	0	136	180
OGIT	7	2	106	1.9	88	120
OGU	2	1	55	1.8	94	120
OMS	1	1	80	1.3	96	180
REC	12	28	164	17.1	245	180
SB	9	11	81	¹⁴⁶ / ₁₃₄ 13.6	152	180

THOR	4	0	76	0	220	180
VS	5	0	104	0	283	180
XLAP	6	4	54	7.4	100	120

手術部位感染発生状況

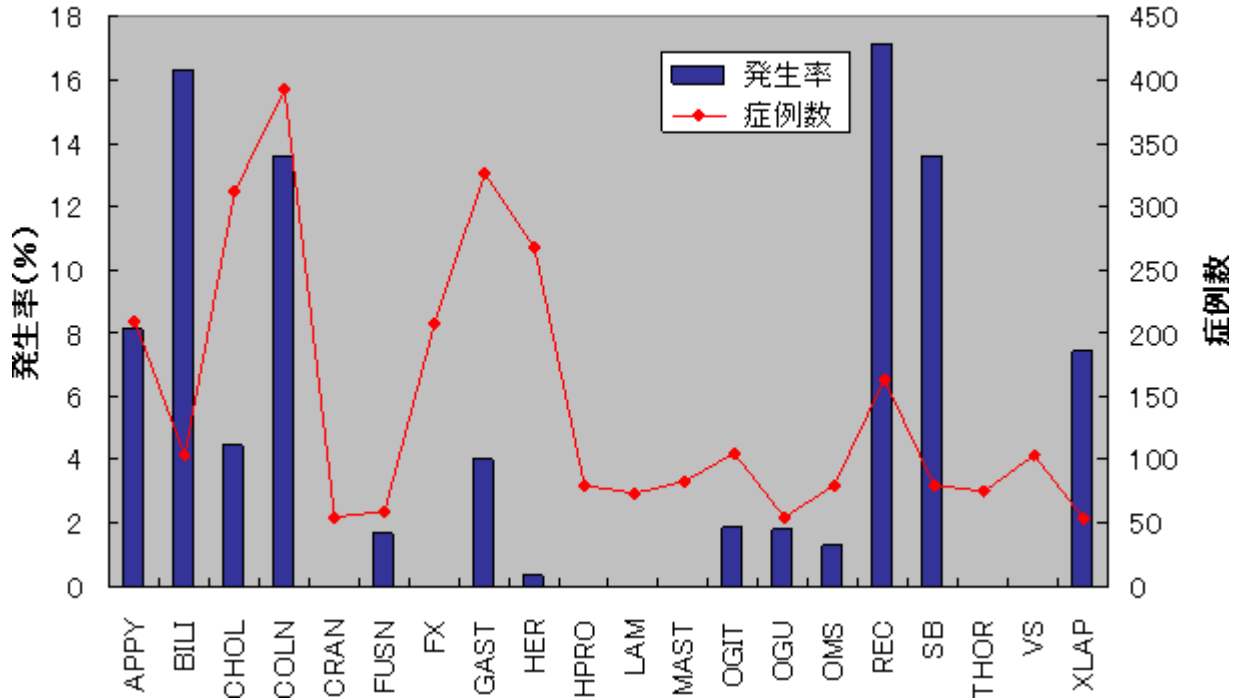


図2 . 性別手術部位別感染発生状況 (症例数上位20手術手技)

手術手技	男			女		
	発生数 SSI	症例数	発生率(%)	発生数 SSI	症例数	発生率(%)
APPY	11	137	8	6	73	8.2
BILI	14	64	21.9	3	40	7.5
CHOL	12	177	6.8	2	134	1.5
COLN	37	225	16.4	16	166	9.6
CRAN	0	28	0	0	27	0
FUSN	1	31	3.2	0	29	0
FX	0	113	0	0	95	0
GAST	11	239	4.6	2	87	2.3
HER	1	204	0.5	0	64	0
HPRO	0	12	0	0	68	0
LAM	0	50	0	0	24	0
MAST	0	1	0	0	82	0
OGIT	1	58	1.7	1	48	2.1
OGU	0	22	0	1	33	3
OMS	1	46	2.2	0	34	0
REC	17	108	15.7	11	56	19.6
SB	4	40	10	7	41	17.1

THOR	0	55	0	0	21	0
VS	0	69	0	0	35	0
XLAP	3	32	9.4	1	22	4.5

手術部位感染発生状況(性別)

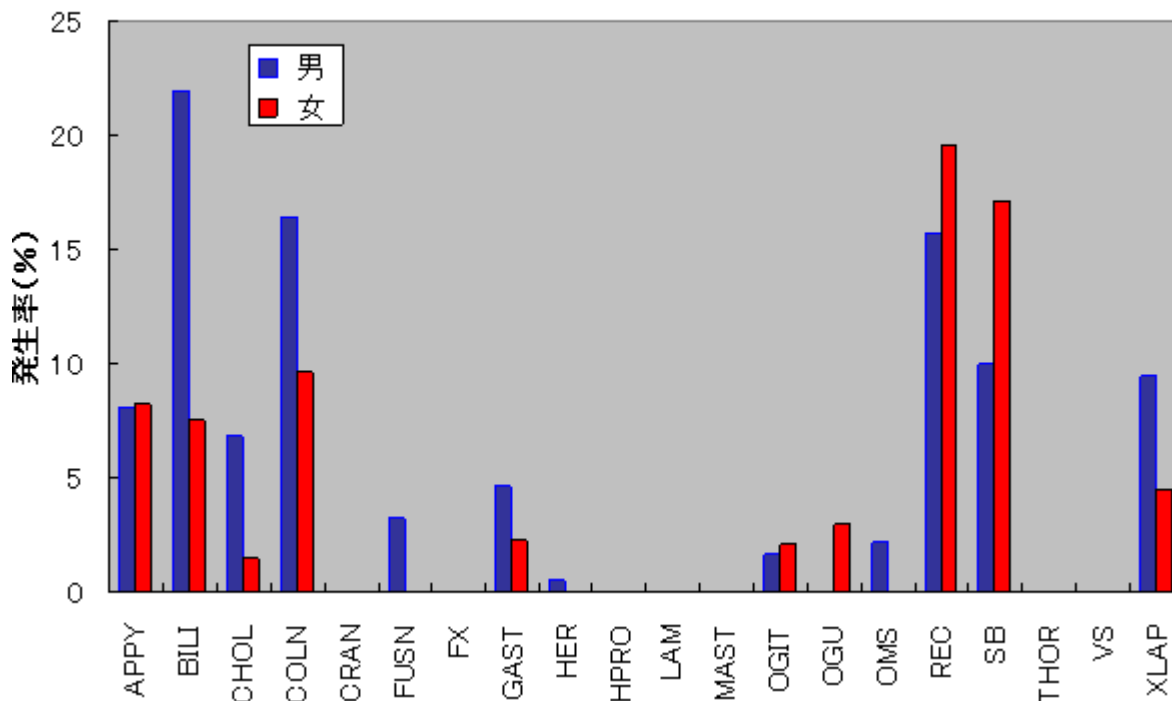


図3 . 全身麻酔有無別手術部位別感染発生状況(症例数上位20手術手技)

手術手技	あり			なし		
	発生数 SSI	症例数	発生率(%)	発生数 SSI	症例数	発生率(%)
APPY	15	176	8.5	2	34	5.9
BILI	17	104	16.3	-	-	-
CHOL	14	311	4.5	-	-	-
COLN	53	386	13.7	0	5	0
CRAN	0	54	0	0	1	0
FUSN	1	59	1.7	0	1	0
FX	0	115	0	0	93	0
GAST	13	326	4	-	-	-
HER	0	156	0	1	112	0.9
HPRO	0	55	0	0	25	0
LAM	0	74	0	-	-	-
MAST	0	78	0	0	5	0
OGIT	2	67	3	0	39	0
OGU	1	35	2.9	0	20	0
OMS	0	42	0	1	38	2.6
REC	28	159	17.6	0	5	0
SB	11	80	13.8	0	1	0

THOR	0	76	0	-	-	-
VS	0	98	0	0	6	0
XLAP	4	50	8	0	4	0

手術部位感染発生状況(全身麻酔)

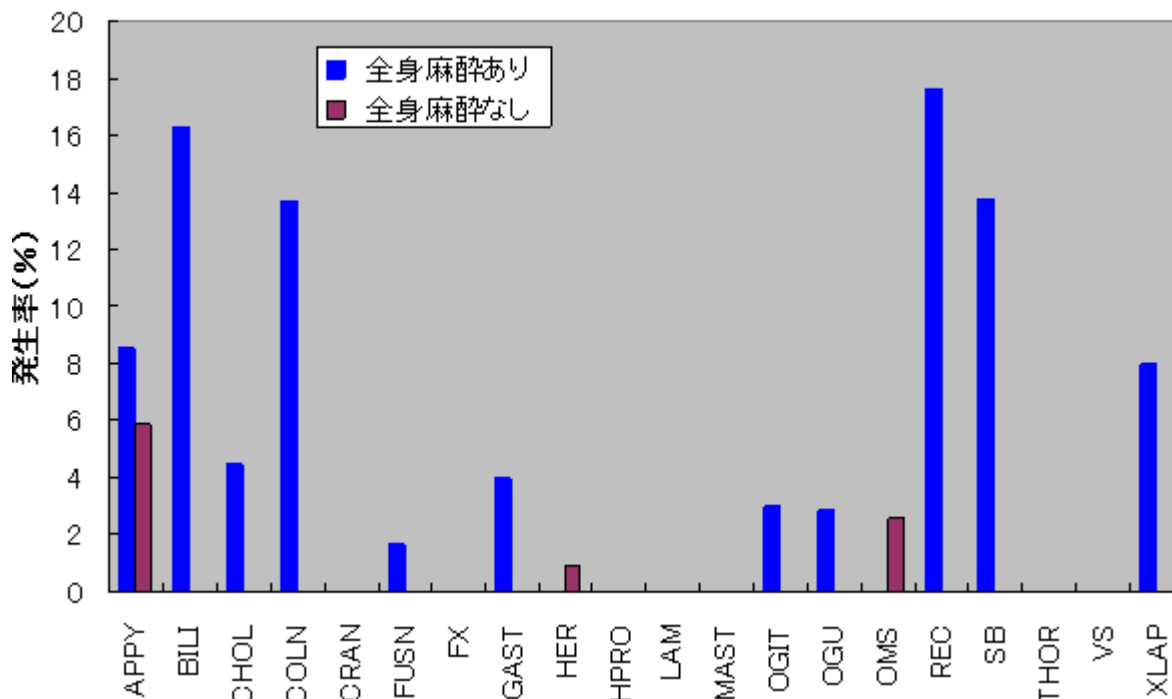


図4 . 緊急手術有無別手術部位別感染発生状況(症例数上位20手術手技)

手術手技	あり			なし		
	発生数 SSI	症例数	発生率(%)	発生数 SSI	症例数	発生率(%)
APPY	17	196	8.7	0	14	0
BILI	3	6	50	14	98	14.3
CHOL	1	17	5.9	13	294	4.4
COLN	11	55	20	42	336	12.5
CRAN	0	30	0	0	25	0
FUSN	0	1	0	1	59	1.7
FX	0	48	0	0	160	0
GAST	2	19	10.5	11	307	3.6
HER	0	17	0	1	251	0.4
HPRO	0	5	0	0	75	0
LAM	0	1	0	0	73	0
MAST	-	-	-	0	83	0
OGIT	2	37	5.4	0	69	0
OGU	1	11	9.1	0	44	0
OMS	0	9	0	1	71	1.4
REC	3	7	42.9	25	157	15.9
SB	9	50	18	2	31	6.5

THOR	0	21	0	0	55	0
VS	0	21	0	0	83	0
XLAP	2	26	7.7	2	28	7.1

手術部位感染発生状況(緊急手術)

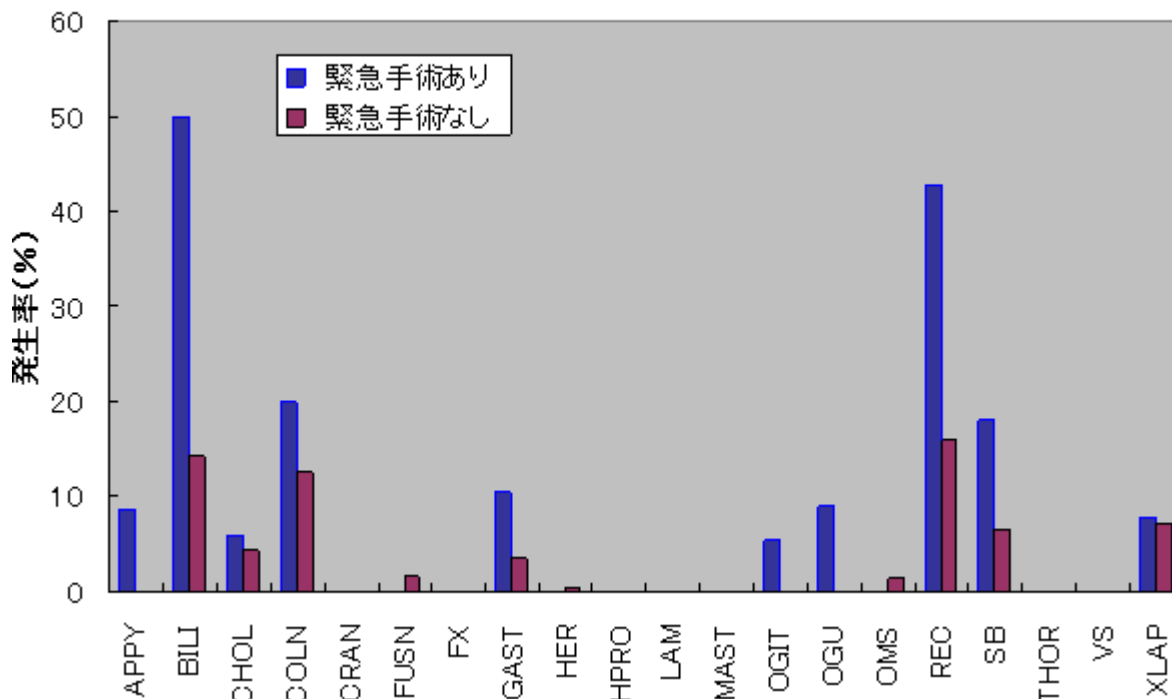


図5 . 外傷有無別手術部位別感染発生状況 (症例数上位20手術手技)

手術手技	あり			なし		
	発生数 SSI	症例数	発生率(%)	発生数 SSI	症例数	発生率(%)
APPY	-	-	-	17	210	8.1
BILI	2	2	100	15	102	14.7
CHOL	-	-	-	14	311	4.5
COLN	0	1	0	53	390	13.6
CRAN	0	1	0	0	54	0
FUSN	0	1	0	1	59	1.7
FX	0	38	0	0	170	0
GAST	-	-	-	13	326	4
HER	-	-	-	1	268	0.4
HPRO	0	3	0	0	77	0
LAM	-	-	-	0	74	0
MAST	-	-	-	0	83	0
OGIT	-	-	-	2	106	1.9
OGU	-	-	-	1	55	1.8
OMS	0	4	0	1	76	1.3
REC	-	-	-	28	164	17.1
SB	0	2 ¹⁵⁰	0 ¹⁵⁴	11	79	13.9

THOR	0	1	0	0	75	0
VS	0	2	0	0	102	0
XLAP	-	-	-	4	54	7.4

手術部位感染発生状況(外傷)

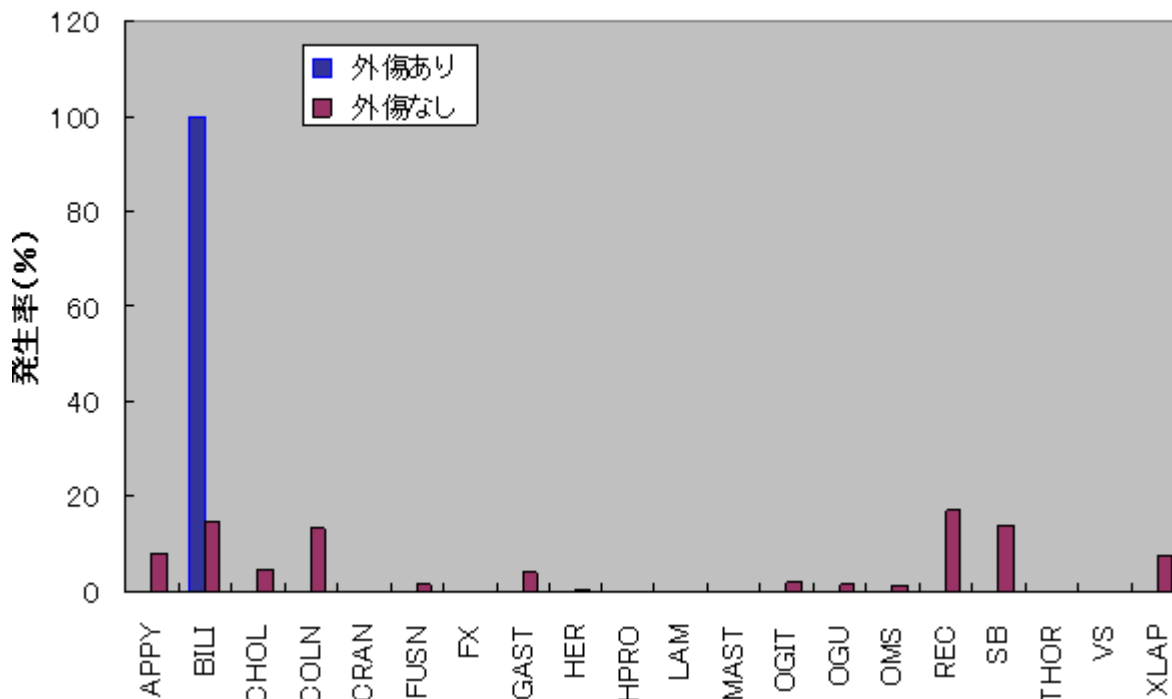


図6 . 埋入物有無別手術部位別感染発生状況(症例数上位20手術手技)

手術手技	あり			なし		
	発生数 SSI	症例数	発生率(%)	発生数 SSI	症例数	発生率(%)
APPY	-	-	-	17	210	8.1
BILI	0	1	0	17	103	16.5
CHOL	1	3	33.3	13	308	4.2
COLN	0	2	0	53	389	13.6
CRAN	0	47	0	0	8	0
FUSN	1	54	1.9	0	6	0
FX	0	185	0	0	23	0
GAST	0	6	0	13	320	4.1
HER	1	187	0.5	0	81	0
HPRO	0	79	0	0	1	0
LAM	0	21	0	0	53	0
MAST	-	-	-	0	83	0
OGIT	0	14	0	2	92	2.2
OGU	0	7	0	1	48	2.1
OMS	0	14	0	1	66	1.5
REC	1	1	100	27	163	16.6
SB	-	-	-	11	81	13.6